伊高の探究が世界を変える。

ITAKA's Inquiry Based Learning “iTanQ” Changes the World.

伊勢崎高校の探究活動 iTanQ

伊勢崎高校の探究活動「iTanQ」では、
これまでの常識にとらわれず、
まだ誰も立てたことのない問いを自ら見つけ出します。

そして、自分で考え、自分で決め、自分で動き出す。
他者と対話し、協働しながら、試行錯誤を重ね、挑戦を続ける。

五感を研ぎ澄ませて社会を感じ、教室を越え、地域を越えて、世界へと踏み出す。

世界を変える力は、あなたの中にある。
そのはじまりが、伊勢崎高校にあります。

伊勢崎高校では、生徒の非認知能力を高めるため、スコットランドとの共同研究を進めています。

SAH Student Agency High School

群馬県立 伊勢崎高等学校

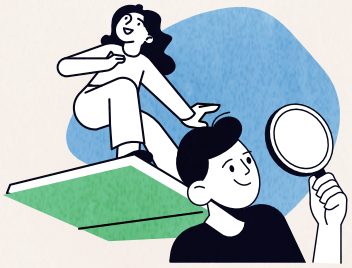
学校案内2026

自分で考えて、
自分で決めて、
自分で動き出す。

エージェンシーを発揮する
自律した学習者へ

SAH
Student Agency High School

伊勢崎高校は、群馬県が指定する「SAH（Student Agency High School）」として、「生徒が自分の人生や周りの世界に対して良い方向に影響を与える能力や責任を持つ」ことを重視し、「自ら考え、判断し、行動できる」人材を育成し、非認知能力育成に向けた実践研究を行っています。



伊高でしかできない学校行事

AGENCY DAY エージェンシーデー

伊勢崎高校では、生徒自らが日々を振り返り、自身の目標を立て、目標を達成するための行動を計画し、実行する1日として、終日「家庭学習日」となる「AGENCY DAY」を令和6年度から実施しています。探究活動だけでなく「AGENCY　DAY」などの活動も通じ、「自分で考え、自分で決め、自分で動き出す」人材の育成を目指しています。

令和6年度 生徒の実施例

日頃行けない、
弟の授業参観に参加した

電車だけを使って一日で行ける
ところ（熱海）まで行ってみた

中国史に興味を持ったので
『キングダム』を20巻読んだ

伊勢崎高校スクール・ポリシー

伊勢崎高校は次のようなスクール・ポリシーを掲げ、エージェンシーを発揮する自律した学習者へ向け生徒の成長を促します。

グラデュエーション・ポリシー　卒業するまでにこのような力を身に付けます

「シン・探究人」～ Borderless Explorers ～

・チャレンジし続ける力
・多様性を認め、共に社会を創造する力
・常識や既成概念にとらわれず、物事の本質を見極めようとする力

カリキュラム・ポリシー
このような学びの場を提供します

問う　問を立てる力を重視し生徒が自ら考えを深める授業

やりぬく　やり抜く力（GRIT）を高めるために、生徒が主体的に活動する授業や学校行事

つながる　学校を飛び出し、外の世界とつながる活動

アドミッション・ポリシー
このような皆さんを待っています

○何かに熱中したい人
○真摯に学びに向き合いたい人
○周囲と協力して頑張りたい人
○一旗上げたい人

教育目標

**知性を磨き、品性を高め、情操を養い、
高き理想に向かって歩む**

創意と活力に満ちた教育活動を展開し、日本及び国際社会で活躍できる能力と品性をもった、心身共にたくましく、心豊かな生徒を育成する。

教育方針

［目指す学校像］
地域の期待に応えられる学校づくりを推進する

［育むべき資質］
①主体性　②社会性　③人間性　④将来性　⑤国際性

自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す

「シン・探究人」を育成する伊勢崎高校の探究活動 iTanQ（アイ タンキュウ）

伊勢崎高校の探究活動「iTanQ」では、これまでの常識にとらわれず、**まだ誰も立てたことのない問いを自ら見つけ出します。**

そして、自分で考え、自分で決め、自分で動き出す。他者と対話し、協働しながら、試行錯誤を重ね、挑戦を続ける。五感を研ぎ澄ませて社会を感じ、教室を越え、地域を越えて、世界へと踏み出す。

伊勢崎高校は、PBL（Project Based Learning: 課題解決型学習）を念頭に置いた各教科固有の学びと、PBLを支える基礎的な知識・技能の習得を目指す教科横断的な学び、学校教育を通して行われる特別活動・道徳活動・キャリア教育・生徒指導（自己決定能力育成）を通じて、「シン・探究人」を育成します。

iTanQの全体像

総合的な探究の時間 iTanQ（蒼穹）

高校1年 蒼穹Ⅰ	身近な困りごとから、課題解決を通じて探究スキルを身に付ける
高校2年 蒼穹Ⅱ	世界の困りごとから、地域課題の解決策を考え、何かアクションを起こす
高校3年 蒼穹Ⅲ	これまで探究を続けてきた「自分事」から、自らの進路を探究し、実現する

伊勢崎高校の探究「iTanQ」の特徴

非認知能力を高める

非認知能力として、論理的思考力や変化に対応する力、批判的思考などを、探究活動を通じて伸ばすことができます

世界的視野で課題を考える

グローバルな視点で世界が抱えている課題に着目し、その解決に向けて自分たちが今できることを考えます

教科横断的な学力を伸ばす

教科横断的な学力は、大学入試だけでなく、社会に出てからも必要な学力です。探究活動は、そのような学力を伸ばす取組であり、未来の自分への投資となります

社会に目を向け 郷土愛を育む

住んでいる地域の課題に目を向けることで、地域の良さを再発見します。そして、自分たちがどのように社会に貢献したいかをイメージしていきます

iTanQ“スクール”

iTanQスクールは、**学校の枠を超えて探究活動**を深め、発表から論文執筆まで深める「ゼミ」です。県内外、異なる学年の生徒とつながり学校の枠を超えるからこそ得られる、**自分にはない視点を加味しながら探究活動**を行います。ゼミの中では東京大学名誉教授の上野千鶴子氏より、指導・助言をいただきながら活動を行い、より深い探究活動を行います。

第1期（2024年度）
伊高：12名／伊高外：9名

第2期（2025年度）
伊高：10名／伊高外：6名

iTanQ“X”

iTanQ“X”（クロス）は、地域・学校・学年の枠を超えて、全国の生徒・学校関係者・地域の方の探究活動の交流の場です。探究活動に関する講演会やグループディスカッション、県内外の生徒らによる探究活動の発表会などを行い、**様々な枠を超えて交流し、自らの探究活動に活かします。**

第1回｜2023年8月
第2回｜2023年12月
（全国85校参加）
第3回｜2024年8月
第4回｜2025年3月
（全国41校147名参加）

iTanQ“スタディーツアー”

iTanQスタディーツアーは、探究活動の前提となる「社会」そのものを知るために、**学校を越えて行うフィールドワーク**です。探究活動の先進校や最先端の研究を行っている大学、課題を有する地域の場など、県内外様々な場所をフィールドワークの対象とし、実際に自分の足・自分の耳で、社会の現場を見に行き、**五感を研ぎ澄ませて社会を感じます**。学校の枠を越えて他の高校生や大学生、企業人らとともに実体験できる、伊勢崎高校にしかないフィールドワークです。

第1回 2023年6月
青山学院大学・国連大学
大学見学・国連とSDGs

第2回 2024年3月
立命館大学
（京都・衣笠キャンパス）
大学見学・観光地京都の現状

第3回 2024年7月
立命館大学
（大阪いばらきキャンパス）
研究見学・映像制作ワークショップ

第4回 2024年8月
群馬県南牧村
「日本一消滅可能性が高い自治体」
人口減少・過疎地域の現状と対策

第5回 2024年11月
群馬県みどり市
東町域・大間々町域
人口減少・過疎地域の現状と対策

第6回 2025年7月
五島列島／長崎市内
農山漁村民泊体験／
戦争の記憶をめぐる

第7回 2025年7月
立命館大学
（大阪いばらきキャンパス）
研究見学・映像制作ワークショップ

第8回 2025年7月
三重県四日市市
家庭クラブ全国大会
探究活動のロールモデルを知る

第9回 2025年7月
パラスポーツ体験
群馬県立ふれあいスポーツプラザ
「同じ場で共に生きる」とは
何かを考える

第10回 2025年8月
群馬県草津町／
長野原町八ッ場ダム
観光地の光と影／ダム建設の光と影

申請型フィールドワーク

伊勢崎高校では、探究活動を進める上で、調べなければわからない現状や生のデータ（一次情報）を、学校を越えて収集できる、申請型のフィールドワーク制度があります。
自らフィールドワーク先を探し、自ら電話をかけ、自ら説明・依頼をし、自ら足を運ぶ。**調べてもわからない”自分ごと”となる問いを立て、自らの足と耳で一次情報を集める**。興味関心に基づいて、授業を越えて探求する「シン・探究人」を育成します。

《2024年度のフィールドワーク先》

40名程度の生徒が制度を活用

休泊保育園／伊勢崎南ケアセンターそよ風／伊勢崎市立第三中学校／群馬県視覚障害者福祉協会／群馬県立盲学校／多摩六都科学館／群馬県庁観光魅力創出課／NIPPON語学院／伊勢崎市国際交流協会／群馬県立前橋高等学校　ほか

iTanQ参加者の声

探究活動を通じて、本などで得た知識を活用しただけでなく、実際に社会に出て人々と交流し、学校の中だけでは学べないことをたくさん得ることができ、人生において貴重な経験と財産になりました。また、発表する力や社会の問題について考える力も発掘でき、自分がますます積極的に考え、質問を投げかけるようになっていることに気付き、実践や挑戦をすることがより好きになりました。

申請型フィールドワーク
参加生徒（高校2年）

iTanQでは身近な物事から社会の様子まで、五感を使って捉えることができ、“ふつう”に囚われない学びや交流ができました。先生方や先輩方のお話しに、ずっとワクワクしながら参加させて頂きました。伊勢崎高校だからこその唯一無二の経験だと思いますし、とても魅力に感じました。

iTanQ”X”参加者
（群馬県・中学3年）

自分事として問題を捉えることができ、実際に足を動かして自分の目で現状を見ることができました。学校を超え、外の世界に目を向けることの大切さを学び、自分自身の可能性が開き自信につながりました。高校生だからこそできる探究活動は、大人になってからではできない、いい機会になりました。

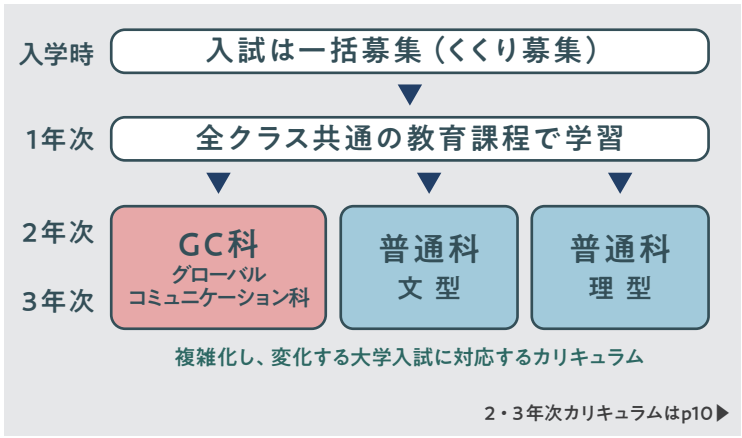
iTanQ”X”参加者
（群馬県・中学3年）

参加に迷っていましたが、思い切って参加してよかったと、心の底から思っています。映像の撮影は思っていたよりも複雑で大変でしたが、とても楽しかったですし、勉強になることが多かったです。ワークショップの中でも映像編集は、自分たちが撮影したものを一つの作品に仕上げていくことが、達成感がすごく、とても楽しかったです。今回のツアーをきっかけに、映像系の進路も考え始めました。

第3回 iTanQスタディーツアー
参加生徒（高校1年）

伊勢崎高校での多様な学び　Learning in ITAKA

本校には「グローバルコミュニケーション科」と「普通科」の魅力ある２つの学科があります。入学時はくくり（一括）で募集し、２年次から選択します。1年次では広く文系・理系の科目を学び、進路ガイダンスや面談などを経て、２年次からの学科選択をていねいに相談して決めていきます。どちらの学科も、国公立大学受験に対応するとともに、複雑化する大学入試に対して、それぞれの希望に沿った学び方ができます。



2・3年次カリキュラムはp10▶

国際的な視野を広げる
グローバルコミュニケーション科（GC科）

県内唯一のグローバルコミュニケーション科がある本校は、国際社会で活躍できる資質を身に付ける人材を育成します。複数のネイティブの先生から指導が受けられ、教室で学んだことを実践できる体験プログラムや海外との交流、資格取得など、実践的な英語運用能力を育むほか、第２外国語も学ぶことができます。

オリジナルスピーチ

夏休みに原稿を準備し、夏休み明けの授業でクラス内スピーチコンテストを実施。優秀者は市や県のスピーチコンテストに参加します。

小学校訪問

近隣の小学校にお邪魔して、英語の授業を担当します。教える難しさも感じつつ小学生と一緒に英語を楽しく学びます。

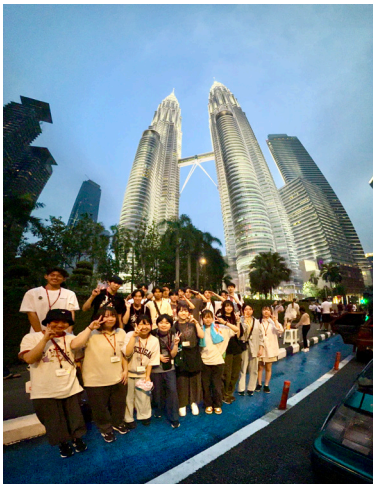
東京研修

Tokyo Global Gatewayにおいて、現実感のあるセットの中で、学んできた英語を実際に使うトレーニングを行います。JICA地球ひろばでは世界の抱えるSDGsや各国の文化へ理解を深めました。

国を超えた交流事業

Global Classmatesプログラムに参加して、アメリカの生徒と交流。オンラインチャットやお土産交換、ビデオディスカッションなどを楽しみました。

伊勢崎高校の国際行事



短期海外研修

マレーシアにて一週間の海外研修を実施。語学研修施設で英語を学び、モスクや大学、現地に進出した日本企業、孤児院など様々な場所を訪れました。

パリ開催
OECD 生徒教師サミットへの参加

学校をよりよくするため、世界各国から集まった研究者、教師、生徒たちと国を超え、立場を超えた意見交換とアイデアの共有を行いました。

幅広い進路希望に応じた学び
普通科

普通科では、難関国公立大学から私立大学まで、幅広い進路希望に応じた学びができます。

- 多様な進路がある中、自分の進路希望に適した学習に集中的に取り組めます。文系の進路を希望する文型と、理系の進路をめざす理型とに分かれます。（医療系は文型からでも対応できます）
- 文型・理型を問わず、個人の能力や希望に応た学習が可能です。数学・英語では習熟度別授業や少人数授業で、一人一人の実態に合わせて、きめ細かな指導を行います。
- 演習科目が充実しているため、より深い実力養成が可能です。各教科に演習科目があり、希望進路に応じて重点的に学習できます。

高大連携

大学の先生方にお越しいただいたり、時には大学に訪れて、英語や国際に関する授業を体験します。

部活動 Club Activities

伊勢崎高校には数多くの部活動があります。運動系（運動部）・文芸系（文化部）ともに、充実した活動を行っています。仲間とともに励まし合い、競い合い、感動を分かち合う。それぞれの個性を伸ばしていきます。

運動系

- 硬式野球部
- 陸上競技部（男女）
- バスケットボール部（男子）
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子テニス部
- 女子テニス部
- サッカー部
- ラグビー部
- ハンドボール部（男女）
- 男子バドミントン部
- 女子バドミントン部
- 卓球部（男女）
- 剣道部（男女）
- 弓道部（男女）
- 空手道部（男女）
- 山岳部（男女）
- 女子ダンス部
- 水泳同好会

文芸系

- 応援部
- 新聞部
- 放送部
- 吹奏楽部
- 音楽部
- 写真部
- インターナショナル部
- 科学部
- 美術部
- JRC部
- 囲碁将棋部
- 料理部
- 演劇部
- 文芸部
- 華道部
- 書道部

部活動の活躍

陸上部 令和3・4・5・6・7年度 関東大会出場

男子バレーボール部 第73回全日本バレーボール高校選手権出場（春高バレー）

ハンドボール部（男子） 令和5年度 関東大会出場

ハンドボール部（女子） 令和7年度 関東大会出場

弓道部 令和3年度 団体：関東男子団体出場、東日本男子団体出場
個人：全国高校選抜 男子個人出場

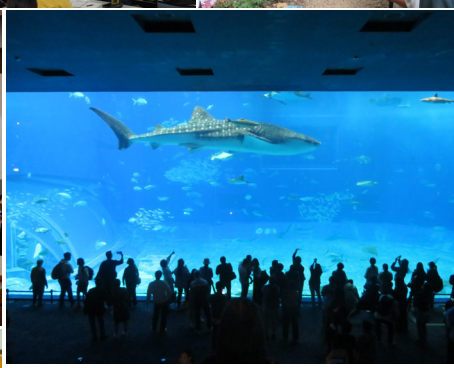
ラグビー部 群馬県大会（7人制） 第3位

水泳同好会 令和7年度 関東大会出場

放送部 令和3・4・5・7年度 全国大会出場

吹奏楽部 令和5・6年度 西関東大会出場

文芸部 令和6・7年度 全国大会出場



学校行事 School Events

本校には季節ごとに充実したイベントがあり、高校生活を彩るさまざまな行事が充実しています。高校3年間のかけがえのない時間を、仲間とともに思い出に刻みます。

1学期

- 入学式
- 新入生歓迎会　部活動見学
- AGENCY DAY①
- 生徒総会　高校総体
- 蒼穹祭（文化祭）*体育祭と隔年開催
- AGENCY DAY②
- 生徒会本部役員選挙
- iTanQ“X”・iTanQスタディーツアー

2学期

- 球技大会
- オープンスクール
- 体育祭 *蒼穹祭と隔年開催
- AGENCY DAY③
- 修学旅行(2年・沖縄)
- 探究型インターンシップ（1年）

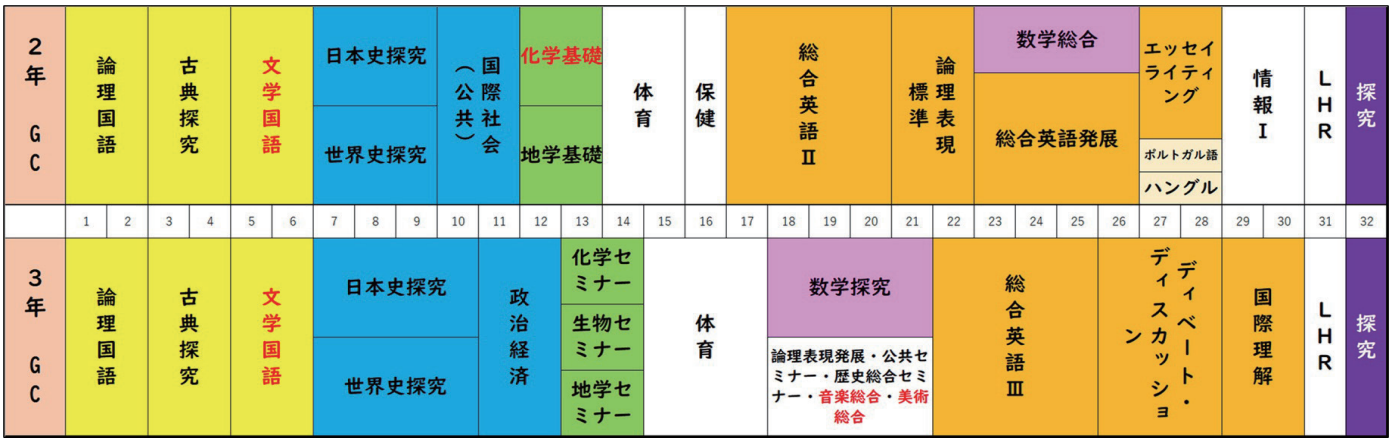
3学期

- 大学共通テスト
- 探究成果発表会
- 卒業式

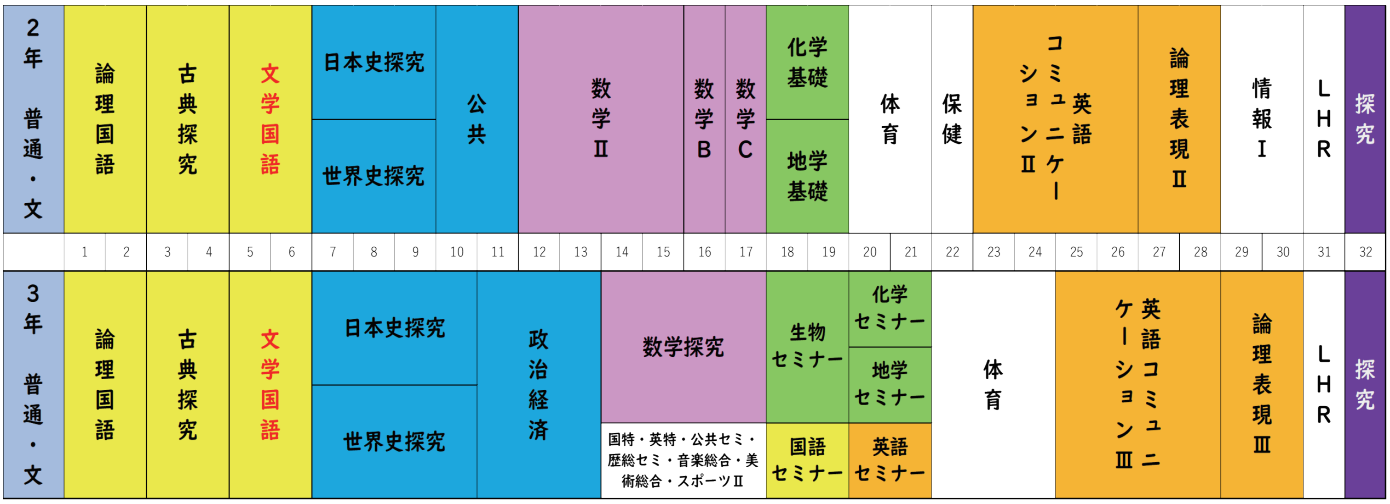
カリキュラム（令和7年度入学生） Curriculum

本校では２年次から「グローバルコミュニケーション科」と「普通科（文系・理系）」の２つの学科を選択して学びます。どちらも国公立大学受験に対応するとともに、複雑化する大学入試に対して、それぞれの希望に沿った学び方ができるカリキュラムです。

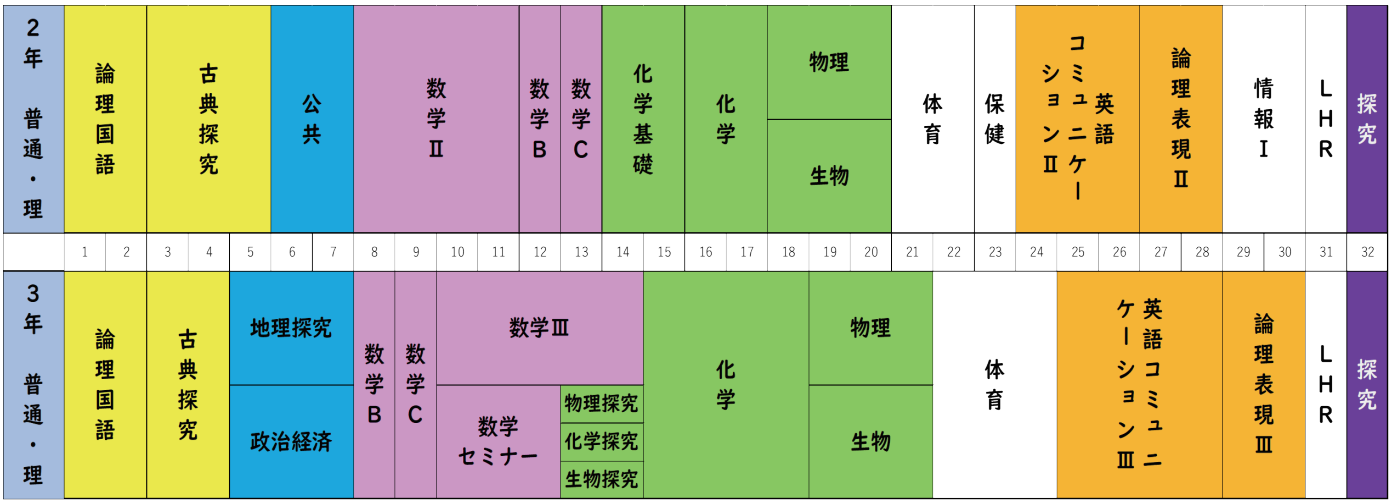
グローバルコミュニケーション科（GC科）



普通科《文系》



普通科《理系》



進路実績 Career Path

本校では幅広い進路希望に応じた一人ひとりの進路希望に応じて、手厚い指導を行っています。

過去5年間の進路実績

	令和6年度		令和5年度		4年度	3年度	2年度
	合格数	進学数	合格数	進学数	進学数	進学数	進学数
国立大学	22	22	15	15	8	10	9
公立大学	27	26	30	28	38	12	23
私立大学	272	179	272	168	166	211	184
大学計	433	227	318	211	212	233	216
短期大学	17	12	13	12	11	19	14
専門学校等	47	43	22	21	39	47	57
就職	6		3		3	3	6
進学努力継続・その他	16		18		5	15	18

主な国公立大

広島大学
弘前大学
秋田大学
山形大学
筑波大学
群馬大学
宇都宮大学
埼玉大学
東京学芸大学
茨城大学
新潟大学
信州大学
山梨大学
金沢大学
上越教育大学

群馬県立女子大学
群馬県立県民健康科学大学
前橋工科大学
高崎経済大学
長岡造形大学
諏訪東京理科大
長野大学
都留文科大学
秋田公立美術大学

主な私立大

亜細亜大学
学習院大学
関西大学
北里大学
京都芸術大学
國學院大學
国士舘大学
駒澤大学
埼玉工業大学
芝浦工業大学
女子美術大学
成蹊大学
成城大学
専修大学
大東文化大学
千葉工業大学
帝京大学
東海大学
東京経済大学
東京造形大学
東京電機大学
東京都市大学
東京農業大学
東京理科大学
東洋大学
獨協大学
日本体育大学
日本大学
文教大学
法政大学
武蔵大学
武蔵野美術大学
明治学院大学
明治大学
高崎健康福祉大学
共愛学園前橋国際大学
群馬医療福祉大学
群馬パース大学
東京福祉大学　他

卒業生の声 Graduate Voice

金澤 美輝さん

群馬大学 医学部 保健学科

私は、3年生の5月に、看護師になりたいという夢を見つけました。まわりの友達より進路を決めるのが遅くて不安もありましたが、「今からでもきっと間に合う」と信じて、一つ一つの授業を大切にしながら勉強に取り組みました。わからないところはそのままにせず、先生に質問したり、友達と教えあったりすることで少しずつ力をつけていきました。思うようにいかないときもありましたが、友達や先生がいつも支えてくれて、最後まであきらめずに頑張ることができました。高校生活では、行事や部活動を通して、協力することの大切さや思いやりの気持ちを学びました。人の気持ちに寄り添う大切さを実感しました。私もたくさん悩みながら進路を決めました。だからこそみなさんも「自分らしく」進んでいってほしいなと思います。応援しています。

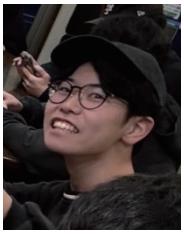
仲村渠 賢さん

埼玉大学 教養部 教養学科

私は伊勢崎高校で勉学と部活動の両立を心掛け、充実した高校生活を送ることができました。コロナの規制が緩和されたこともあり、文化祭、体育祭、修学旅行などの行事を最大限に楽しむことができ、一生残る思い出となりました。勉強については、普段の授業を真面目に聞き、復習を心掛け、放課後、学校や地域の図書館など自分にとって集中できる環境に身を置くことで長時間勉強をすることができました。高校三年次では担任の先生が受験における様々なアドバイスをしてくださり、また、国公立大学を志望していたため共通テスト対策の補講や二次試験の英作文の指導などしていただきました。先生方を頼ることで学習がより有意義となり、志望校に合格することができました。大学では様々なことを経験し、自分の学びたいものを追求して、将来は社会で必要とされる人材となりたいと思っています。

亀井 洋希さん

法政大学 経済学部 国際経済学科



私は、ごく普通な高校生活を歩みました。体育祭や文化祭等の学校行事では、クラスメイトと交流を深め、部活動では、仲間たちと共に、目標に向けて切磋琢磨しました。そんな私の高校生活が刺激的なものへと一変したのは、いわゆる受験期からです。友人達と「受験仲間」として、競い合い、助け合い、大きな目標に向かって努力し続けられた日々は、とても貴重なものでした。昼食時間に友人達と歴史の問題を出し合ったり、放課後に図書館に行ったりという、常に勉強を意識した生活は、辛くもあり、楽しくもありました。やればやるほど力になる、受験勉強という壁は、継続する大切さを教えてくれました。高校の勉強は、人生を豊かにするきっかけを与えてくれます。私は、世界史の勉強を通して、現在の世界情勢に興味を持ちました。現代文の勉強を通して、有名作家の本を読み始め、今や読書が趣味の一環となりました。勉強に対してどのように向き合うかが、高校生活を充実させる鍵です。後悔ない高校生活を目指して、頑張ってください。

ACCESS

群馬県立
伊勢崎高等学校

〒372-0033 群馬県伊勢崎市南千木町5239-1
TEL | 0270-40-5005 FAX | 0270-21-7780
https://isesaki-hs.gsn.ed.jp/

伊勢崎高校 検索

学校HP

公式Instagram